



学校だより 始良市立永原小学校 令和5年6月23日発行

緑の風

児童数33名(特認生11名)
P戸数23戸

「みんなでつくろう 笑顔いっぱい」の 永原小学校

10年後の水泳学習は…

～ プールからあふれる笑顔と歓声 ～

校長 高岡 和也

水泳学習が始まり、子どもたちの楽しそうな声が、校長室にまで響いてきます。昔から永原台地では、水を得ることが容易なことではなく、昭和34年頃には水道ができ、生活する上での水の確保はできるようになったのですが、「プールに水を使うと、田んぼに必要な水が足りなくなってしまうのではないか。」との心配があったのだそうです。

永原小にプールができるまでの経緯について、当時の校長の和田二男先生が永原小百周年記念誌に、次のような随想を寄せられていました。



「随想」 和田 二男 第24代校長(昭和44年4月～昭和50年3月)

(前略) 永原小にプールがなかなかできなかった原因は、水源難にあった。学校体育に水泳が取り入れられ、町内の学校にはプールが設置されたのに、永原小・中だけは取り残されてしまった。(略)そこで、プール建設推進委員会がつくられ、町当局への陳情、水源探しが始まった。(略)中学校下の谷に水源を求めることにし、耕作者の承諾を得るために、委員の皆さんが、戸別訪問をして、水源設置についての承諾署名をもらうことになった(略)なんとか「異常干ばつ時にはプールへの揚水を中止する」との条件付きで耕作者全員の承諾を得ることができた。

水に苦しんできた永原、水と水田耕作の関係「汲みあげただけは、水が減るのだ。」という耕作者の不安な気持ちも、私には痛い程わかっていた。それでも、最終的には、子どもたちのため、という有難い気持ちが、全員承諾という形になって現れてきたのだと思う。



先日、「学校での水泳学習を行わないで、民間のスイミングスクールに委託する学校も増えてきている」という記事を目にしました。その理由としては ①プールの老朽化が進んでいること ②教員の長時間労働の要因になっていること ③猛暑や雷雨で、屋外プールでは授業を行えない日が増えていることが挙げられていました。確かに維持管理等のコスト面では、民間委託の方がいいのかもしれませんが、学校の水泳学習が、スイミングスクールの指導と同じになっていいのだろうかと考えさせられました。水泳学習の民間委託の記事にふれ、学校のプールにあってスイミングスクールのプールにない「大きな違い」に気が付きました。それは、子どもたちの笑顔と歓声です。

和田校長先生の「随想」の上の文の続きにもこのように書かれていました。

実に三年がかりの水とのたたかいであった。後は町当局の温かい配慮により、昭和48年10月立派なプールの完成をみた。プール開きの日の子どもたちの嬉しそうな顔、歓声が思い出される。

今年もPTA方々の協力を得て、夏休みのプール開放を実施することができます。笑顔と歓声が永原小のプールからあふれることでしょう。10年後もきっと…

行事育って？

～「衣替え」の根っこを考える～

毎年6月と10月には、衣替えについてのお便りを出していましたが、今年は夏服への衣替えのお知らせを出しませんでした。梅雨に入り大変蒸し暑い日もありましたが、急に冷える日があったりと、気温の高低差が大きい日が続きました。各教室はエアコンがあり、気温や湿度に応じ調整をするため、6月の半ばを過ぎても、長袖に冬の上着を着用している児童もいました。

「暑くないの？」と尋ねても「いや、大丈夫です。」との返事が返ってきます。「服装は、自分の意思で選んだのであれば何の問題もない？ でも、6月半ばに冬のブレザーは違和感が…」と感じていたところ、三浦康子さん(和文化研究科)が提唱されている「行事育」というのがあることを知りました。

三浦さんによれば、年中行事を大切に「行事育」により ①根っこになる ②絆になる ③心豊かになる ④賢くなる ⑤元気になるという5つの力がつくということです。衣替えについては、季節にあった服装に変えることで気分がリフレッシュされ、元気になる。といわれています。伝統行事の根っこを知り、それらを育んできた日本文化について考えることは、私たちの心を豊かにしてくれる一つなのかもしれません。



水 泳 学 習

6月に入り、子供たちが楽しみにしていた水泳学習が始まりました。プールに入り、水に親しむための遊びや泳ぐ練習をしながら、笑顔いっぱい楽しそうに学習に取り組む姿が見られます。特に、初めての1年生は大はしゃぎです。今後は、学年に応じた目標をしっかりと立てて、楽しくも充実した学習にしていきます。

また、7月6日（木）は校内水泳大会ですので、子供たちの学習の成果を御期待ください。



芋 の 苗 植 え

永原の前原等さんに御協力いただき、芋の苗植えをしました。1年生の中には、初めて芋を植える子供もいましたが、上学年が植え方を教えながらみんなで芋を植えることができました。昨年度は、持ち帰りきれないほどの芋を収穫することができました。今年度もたくさんのおいしい芋を収穫できることでしょう。11月の芋ほりが待ち遠しい子供たちです。



校 内 読 書 旬 間

6月1日（木）～16日（金）は校内読書旬間でした。児童集会での図書・広報委員会による読み聞かせや、ビンゴゲーム大会、毎日2冊貸出しなど本に親しむためにたくさんの催しが行われました。「先生たちによる本の読み聞かせ」では、本に出てくる場面を再現したり声色を変えたりと子供たちの興味をひく工夫をしていました。本は「心の栄養」とも言われます。子供たちがたくさんの本に出会うことを期待します。



あ り が と う ご ざ い ま す

校区美化作業では、たくさんの保護者や地域の皆様のおかげで、日頃なかなかできない作業ができ、学校中がきれいになりました。JA女性部の皆様には、職員室横に緑のカーテン（ゴーヤ）を作っていただきました。いつも学校のためにありがとうございます。



3のつく日のあいさつ運動では、子供一人一人に優しく声を掛けていただいております。御協力いただき本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

校 内 人 権 週 間

6月5日（月）～10日（金）は、校内人権週間でした。「自分も友達も大事にすること」など人権に関するについて、人権集会や道徳の授業等をおして考えました。なかよし宣言発表会では、これから大事にしたいことをみんなの前で発表したり、言葉の大切さについて学んだりすることができました。これからも自分も友達も大事にできる、笑顔いっぱいの子供たちでいてほしいです。



【7月の行事予定】

- 3日（月）3のつく日のあいさつ運動
- 6日（木）校内水泳大会
給食試食会
学級・全体PTA
- 7日（金）スターランドAIRA見学（3・4年）
- 8日（土）緑の少年団キャンプ（～9日）
- 13日（木）3のつく日のあいさつ運動
- 14日（金）着衣水泳
- 15日（土）PTAプール掃除



- 17日（月）（祝）海の日
- 18日（火）海開き参加（重富海水浴場）
- 20日（木）終業式（給食なし）
- 21日（金）～28日（金）プール開放
- 21日（金）～31日（月）教育相談
- 23日（日）町内一斉美化作業
- 26日（水）国体炬火リレー
- 27日（木）市水泳記録会
- 29日（土）永原夏祭り

